

教宣 せぶん

宙船（そらふね）

久しぶりに感性をくすぐられる曲に出会いました。T O K I Oが歌う「宙船」(そらふね)という歌です。作詞・作曲は中島みゆきで、現在オリコンチャート1位の旬な曲ですので、ご存知の方もいるかもしれませんが、これから耳にする機会もあるかもしれません。アップテンポなメロディーもさることながら、特に惹かれたのはその詩です。紹介しましょう。

その船を漕いでゆけ おまえの手で漕いでゆけ
おまえが消えて喜ぶ者に おまえのオールをまかせるな

その船は今どこに ふらふらと浮かんでいるのか
その船は今どこで ポロポロで進んでいるのか
流されまいと逆らいながら
船は挑み 船は傷み
すべての水夫が恐れをなして逃げ去っても
その船を漕いでゆけ おまえの手で漕いでゆけ
おまえが消えて喜ぶ者に おまえのオールをまかせるな

その船は自らを宙船（そらふね）と 忘れていているのか
その船は舞い上がるその時を 忘れていているのか
地平の果て 水平の果て
そこが船の離陸地点
すべての港が灯りを消して黙り込んでも
その船を漕いでゆけ おまえの手で漕いでゆけ
おまえが消えて喜ぶ者に おまえのオールをまかせるな

地上の星にも似た中島みゆきの独特の世界ですが、私たちの境遇を歌っているような、応援歌のような気がしてなりません。契約係従業員という私たちの存在を消そうと企む経営者に、私たちの進路や将来を委ねるわけにはいきません。周りから見れば孤軍奮闘のたたかひに見えるかもしれませんが、信じる道をたたかってすすんでいきましょう。